

# むつ市議会だより

編集 むつ市議会広報聴取委員会  
発行 むつ市議会  
青森県むつ市中央一丁目8番1号  
☎22-1111

—第223回定例会—平成27年2月25日～3月20日

むつ市議会第223回定例会が、去る2月25日から3月20日までの24日間の会期で開かれました。今定例会では41議案・6報告・2議員提出議案が上程され、審議の結果、それぞれ可決・同意・承認されました。「むつ市議会だより」では、定例会におけるそれぞれの議案の審議内容、議決の結果、一般質問の要旨、各常任委員会の活動等について、ご紹介します。

## 主な議案の説明

### 【むつ市ふるさと納税寄附金基金条例】

ふるさと納税による寄附金の使途を明確化し、効果的な運用による事業の推進を図るため基金を創設するもの

### 【むつ市キッズパーク条例】

楽しく子育てできる居心地の良い遊び場を提供し、子育て家庭の交流を促すことにより子どもの健やかな育成を支援するため、屋内遊戯施設を設置するもの



### 【むつ市大湊展望台条例】

観光旅行者および市民に芦崎湾の美しい景色を望む安らぎの場を提供することにより、観光の振興および交流の促進に資するため、大湊展望台を設置するもの



### 【むつ市職員の給与の特例に関する条例】

平成27年4月1日から平成28年3月31日までの間の市職員の給料月額を減額するためのもの

### 【むつ市太陽の恵み基金条例の一部を改正する条例】

基金の使途について、再生可能エネルギー等への導入の支援に加え、環境保全活動の促進に関する事業にも範囲を拡大するためのもの

### 【むつ市介護保険条例の一部を改正する条例】

平成27年度から平成29年度までの介護保険の第1号被保険者の保険料率を定め、および保険料率に係る区分を改めるためのもの

### 【むつ市保育所条例の一部を改正する条例】

3月31日をもって閉所となるむつ市立横町保育所および経営移譲となるむつ市立大畑中央保育所を廃止し、また、関係法令の規定に基づき所要の条文整備をするためのもの

### 【むつ市畜場条例の一部を改正する条例】

むつ市川内斎場の犬、ねこ等の火葬に係る使用料を改定するためのもの

### 【むつ市消防団条例の一部を改正する条例】

消防団員の処遇改善を図るため、水火災その他の災害および自然災害に係る警戒の職務に従事した場合の費用弁償額を増額するもの

### 【財産の取得について】

都市計画道路横町中央2号線の道路用地を取得するためのもの

取得する財産

むつ市中央一・二丁目のうち	
雑種地	213・56㎡
原野	2043・83㎡
雑種地	2423・24㎡
宅地	0・08㎡
山林	436・05㎡
(合計)	5116・76㎡
取得価格	6903万4862円

### 【平成26年度むつ市一般会計補正予算(議案第41号)】

歳出については、地方創生に向けた先行的な施策として、むつ市総合戦略策定事業費ほか13事業、プレミアム付き商品券発行に係る事業費および要援護者等屋内退避施設確保事業費を計上したものと

歳入については、国庫支出金および県支出金に歳出との関連において補助見込額を計上したほか、補正財源を調整するため財政調整基金を取崩したものと

・補正額(増額補正)  
4億2328万8000円

### 【専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(報告第2号、第6号)】

(平成26年度むつ市一般会計補正予算)道路等の除排雪に係る予算に不足が見込まれたため、関係予算を専決処分したものと

・補正額(増額補正)	
第2号	1億5000万円
第6号	1億円

議案に対し、通告のあった質疑とその答弁および討論等についてご紹介します。

本定例会で審議された議案の議決結果・賛否の一覧をご紹介します。

Table with columns for case name, decision result, and council members' votes. Includes cases like '議案第9号 むつ市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例'.

全会一致で原案可決・同意・承認となった案件および報告のみの案件：3月12日採決【欠席(不在) 1：村中徹也】

- ◆議案第27号 むつ市教育委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて
◆議案第28号 人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて
◆議案第29号 人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて
◆議案第30号 平成26年度むつ市一般会計補正予算
◆報告第1号 専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)
◆報告第2号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(平成26年度むつ市一般会計補正予算)
◆報告第4号 専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)
◆報告第5号 専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)
◆報告第6号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(平成26年度むつ市一般会計補正予算)

全会一致で原案可決・承認となった案件：3月20日採決【欠席(不在) 1：富岡幸夫(議案第1号～19号まで)】

- ◆議案第1号 むつ市教育委員会教育長の勤務時間等に関する条例
◆議案第2号 むつ市ふるさと納税寄附金基金条例
◆議案第3号 むつ市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例
◆議案第4号 むつ市指定介護予防支援事業者の指定並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例
◆議案第5号 むつ市キッズパーク条例
◆議案第6号 むつ市大湊展望台条例
◆議案第7号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例
◆議案第8号 むつ市行政手続条例の一部を改正する条例
◆議案第11号 むつ市太陽の恵み基金条例の一部を改正する条例

- ◆議案第13号 むつ市指定地域密着型サービスの事業及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例及びむつ市介護老人保健施設条例の一部を改正する条例
◆議案第14号 むつ市保育所条例の一部を改正する条例
◆議案第15号 むつ市斎場条例の一部を改正する条例
◆議案第16号 むつ市消防団条例の一部を改正する条例
◆議案第17号 むつ市図書館資料購入基金条例を廃止する条例
◆議案第18号 むつ市地域福祉基金条例を廃止する条例
◆議案第19号 むつ市地域の元気臨時交付基金条例を廃止する条例
◆議案第20号 むつ市ふるさと活性化対策基金条例を廃止する条例
◆議案第21号 むつ市青少年問題協議会設置条例を廃止する条例
◆議案第22号 財産の取得について(都市計画道路横迎町中央2号線の道路用地を取得するためのもの)
◆議案第23号 青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について
◆議案第24号 新市まちづくり計画の変更について
◆議案第25号 むつ市過疎地域自立促進計画の変更について
◆議案第26号 公有水面埋立てに係る意見について
◆議案第31号 平成26年度むつ市下水道事業特別会計補正予算
◆議案第32号 平成26年度むつ市水道事業会計補正予算
◆議案第34号 平成27年度むつ市国民健康保険特別会計予算
◆議案第35号 平成27年度むつ市後期高齢者医療特別会計予算
◆議案第37号 平成27年度むつ市下水道事業特別会計予算
◆議案第38号 平成27年度むつ市公共用地取得事業特別会計予算
◆議案第39号 平成27年度むつ市魚市場事業特別会計予算
◆議案第40号 平成27年度むつ市水道事業会計予算
◆議案第41号 平成26年度むつ市一般会計補正予算
◆報告第3号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(平成26年度むつ市介護保険特別会計補正予算)
◇議員提出議案第1号 むつ市議会委員会条例の一部を改正する条例
◇議員提出議案第2号 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

※○は賛成、●は反対、「欠」は欠席または採決の際に不在の者、「退」は退席、「除」は除斥(地方自治法第117条の規定により、審議事件と一定の利害関係を有するため審議に参加することができない者)
※議長(山本留義)は採決に加わらない(全議員25名 採決対象議員数24名)

【むつ市キッズパーク条例】
○質疑 使用者の範囲を小学3年生以下とした理由は。
○答弁 基本的に未就学児童を対象とし、遊具等も未就学児童を想定したものを設置することとしている。しかし就学児と一緒に来なければならぬことも考慮し、未就学児童と事故なく遊べる子ども達の年齢差などを勘案して小学3年生以下とした。
【むつ市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例】
○質疑 むつ市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の詳細について。
○答弁 青森県人事委員会が行った県職員給与に関する勧告に鑑み、給与制度の総合的見直しとして職員に適用される給与表を平均1・8%減額改定するほか、単身赴任手当の額の改定、住居手当および単身赴任手当に係る支給対象職員の範囲並びに管理職員特別勤務手当に係る支給事由を拡大するものである。
【むつ市職員の給与の特例に関する条例】
○質疑 減額による地域経済への影響はないのか。
○答弁 影響がないとは言いが切れないが、財政再生団体への転落といった最悪の事態に陥ること、市民サービスに影響が出ることは避けなければならないとの判断によるものである。

【むつ市太陽の恵み基金条例の一部を改正する条例】
○質疑 使途拡充の理由は。
○答弁 これまでは一般家庭のごく限られた市民にのみ補助金が交付される現状であったが、この改正により太陽から得られた恵みを植栽や森林保全に活用することで、環境に配慮した循環型社会の一助になり、その恩恵を広く行き渡らせることが可能になると考えている。
【むつ市介護保険条例の一部を改正する条例】
○質疑 改定により影響を受ける人数と金額はいくらか。
○答弁 保険料月額基準額を200円引き上げ、徴収階層の区分を6段階から9段階とする改定で、平成27年度の第1号被保険者1万7412人が影響を受け、保険料額は合計で2598万円、1人あたり年額で1492円の増額となる。
【むつ市消防団条例の一部を改正する条例】
○質疑 費用弁償増額の理由は消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律の指摘によるものか。
○答弁 法律の規定も理由の一つであるが、機会あるごとに災害時の苦労や危険性など消防団員の生の声を聞き、その苦勞に報いるため災害時の出勤分だけでも増額すべきと判断した。

【平成27年度むつ市一般会計予算】
○質疑 予算編成の評価について。
○答弁 市長になって初めての予算編成であったが、率直な印象としては非常に厳しい編成であった。財務部内での査定を経て約8億円の歳出超過があったことから、収支の差を埋めることに意識の大半を注ぎ、それでも解消できなかったことから、特別職の給与、管理職手当の削減に加え一般職員の給与の減額措置を実施する苦渋の決断をした。
しかし、限られた財源の中で「むつ市成長戦略2015希望のまち実現に向けた5つの重点施策」を積極的に展開することを基本に編成し、厳しい財政状況の中でもむつ市の成長の礎を築くための施策を打ち出せたといい点での評価はできるのではないかと考えている。
【平成26年度むつ市一般会計補正予算 第41号】
○質疑 防災対策費2億円の内訳は。
○答弁 奥内小学校の多目的ホールおよび多目的活動室に放射性物質除去フィルターを設置するとともに窓枠の補強や扉の二重化など放射線防護対策を講ずるもので、概算の内訳は、調査設計費1500万円、土木・建築工事費1億8000万円のほか、施工管理費、旅費や建築確認費用等となっている。

Discussion box containing '議員提出議案' (Member Proposed Bill) and '討論' (Discussion) sections. Topics include 'むつ市議会委員会条例の一部を改正する条例' and 'ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書'.





予算審査特別委員会  
佐々木 肇 委員長

# 平成27年度むつ市一般会計予算 323億7,200万円を可決 (前年比1.2%の減)

- ・特別会計 167億2,856万円 前年比8.5%の増
- ・水道事業会計 35億4,532万円 前年比0.7%の増

平成27年度の一般会計・特別会計・企業会計の各予算は、議長を除く全議員で構成された予算審査特別委員会(委員長:佐々木肇議員・副委員長:菊池光弘議員)の場で審査されました。このページでは、予算審査特別委員会での質疑内容について、その一部をご紹介します。

予算審査特別委員会の審査の結果は、一般会計予算および介護保険特別会計予算については、委員1名より反対討論がありましたが、賛成多数で可決すべきものと決定し、ほかの特別・企業会計予算については、全会一致で可決すべきものと決定しました。(平成27年度のむつ市の予算の概要は、広報むつ4月号(4月10日発行)10ページをご覧ください。)

★町内集会所設置等補助金

○質疑 合併当初から、むつ・川内・大畑・脇野沢のそれぞれの地区で補助金の取扱いが違うが、その状況について説明願いたい。

○答弁 確かに合併以来異なった補助金の取扱いとなっており、むつ地区では集会所の補修や土地借受等、川内地区では7町内会に運営補助金、大畑地区では町内会連合会への補助のほか、ごみの集積所等への補助等、地区ごとに異なる形で補助金を支出している。これについては、今後補助基準の内容の一本化を目指し検討していく。

★北北半島ジオパーク構想推進協議会負担金

○質疑 ジオパークに係る平成27年度の事業内容について。

○答弁 平成27年度は各種研修会への参加、ジオサイトマップ・ホームページ・看板等の作成、ジオツアーの開催、先進地視察のほか、地域への情報提供というところで出前講座やジオガイド員養成講座等を計画している。

★社会福祉法人指導監査専門員費

○質疑 監査委員の人数と、監査の対象となる社会福祉法人は市内全部なのか。

○答弁 市内にある15の社会福祉法人の監査を税理士2名に委託している費用である。

★図書館費

○質疑 図書購入の選定基準は。

○答弁 公共図書館の選定の基準は、市民の要求と社会的価値とされるが、これを踏まえ、市民からの図書リクエストカードの要望により昨年度は約350冊を購入。また、社会的価値として図書館司書や職員等で選定したものも含め、年間2500冊を購入している。

★歳入について

○質疑 地方交付税6億5000万円の減国および県支出金の電源立地地域対策交付金の減の理由と今後の予想について。

○答弁 普通交付税においては、地方消費税交付金が約3億円増額となることから普通交付税が減となる。また平成26年度交付額をベースとして合併特例措置分について平成27年度は1億2000万円の減を見込んでいるほか、平成26年度の交付額の実績をベースに地方財政計画の増減率を加味して積算した。

また特別交付税についても、平成25年度の実績により平成26年度と比較して1億2000万円を減としたものでトータルで6億5000万円の減となった。

電源立地地域対策交付金については、国庫支出金、県支出金とも、交付金を構成している立地促進対策交付金相当部分の減によるものである。

今後は平成28年度から交付単価の減少等により、年間3億円弱程度の減収になると見込んでいる。

★災害時用備品整備事業費

○質疑 備品の保管場所および非常食等の消費期限のあるものの管理は。

○答弁 各庁舎、小・中学校、高等学校などの主要な避難所、市内34か所に保管している。また、食糧や飲料水等の保存期限は5年がほとんどであるが、期限が切れる1年前には入れ替えを行なっている。

★むつ市資源ごみ回収奨励金

○質疑 予算編成方針で補助金はカットすると話していたが、この奨励金について減額の検討はしなかったのか。

○答弁 減額の検討はしたが、資源ごみの回収を行うことで処分する部分の経費が浮くことになるとなどを勘案し現状の金額を維持することとした。

★健康増進費

○質疑 がん検診にピロリ菌の検査を追加して欲しいとの声が多くなっているが、検討はしたのか。

○答弁 平成27年度予算には計上できなかったが、今後医師会の意見も仰ぎながら前向きに検討していく。

★斎場管理費

○質疑 市内4か所の斎場は、長寿命化のための工事を施して使用しているようだが、今後も継続使用していくのか。また人口減少等を考慮すれば市内4か所は多いのでは。

○答弁 川内・大畑・脇野沢斎場については通常のメンテナンスを行い機能を維持している。むつ市斎場は長寿命化事業に基づき整備しながら継続使用していきたいと考えている。

また当市では高齢者人口の増加に伴い火葬件数も増加傾向にあり、行政区域が広いこともあることから、当面は4斎場の体制を維持していきたい。

★脇野沢農業振興公社貸付金

○質疑 貸付金増額の理由と今後の公社運営の方向性について。

○答弁 平成27年度は法定福利費の支出増等により年度当初の運転資金に不足を生ずるため増額となった。

構造的に赤字となっている主要因はのししの事業である。この1年が勝負だと思っており、赤字解消の目途をつけるような新たな販路の開拓等を、公社と市で連携して取り組んでいきたいと考えているが、そうならない場合は今後の方向性を見直していく時期にきていると考えている。

★地籍調査事業費

○質疑 平成27年度の調査区域、面積および完了まで何年くらいかかるのか。

○答弁 平成27年度は小川町1丁目地区で面積は0.25km<sup>2</sup>を予定している。旧むつ地区で平成31年までには90%を超えるものの、その後完了までには約20年かかると見込んでいる。

★安渡館PR推進事業費

○質疑 安渡館を含めた水源池公園全体のPRはどのように考えているのか。

○答弁 ポスターやチラシを作成し県内外の観光関連団体等に配布するほか、水源池公園内でのイベントも企画している。また全国に5か所しかない海上自衛隊総監部の所在地として、基地に関する観光素材を磨き上げて海軍の街として全国に発信していきたい。

特別会計の内訳	
会計名	予算額
国民健康保険特別会計	81億7,257万円
後期高齢者医療特別会計	5億136万円
介護保険特別会計	59億7,941万円
下水道事業特別会計	15億6,114万円
公共用地取得事業特別会計	2億1,165万円
魚市場事業特別会計	3億241万円
水道事業会計	35億4,532万円

★公共用地取得事業特別会計

○質疑 道の駅の全体予算はいくらか、また、土地購入に係る財源は何を予定しているのか。

○答弁 全体の予算は基本構想策定後に明らかになる予定である。また、土地購入の財源は起債となるが、償還については一般会計からの繰り入れを予定している。

★魚市場事業特別会計

○質疑 工事の着工時期と全体の所要額はいくらか。また、6次産業化や直売所などの観光振興等は考えているのか。

○答弁 平成27年度、平成28年度の2か年の全体の工事費は10億円と想定しており、国の予算確定後速やかに着工したいと考えている。直売所については産地協議会の中で要望等もあり、今後どのような方向の観光振興を目指すのかも含めて検討を重ねていきたい。

## 特別会計についての審査状況

★国民健康保険特別会計

○質疑 国民健康保険財政健全化指針の範囲内の予算となっているか。計画の実施状況は。

○答弁 現時点ではおおむね計画どおりの進捗状況にある。ジェネリック医薬品の普及率は30%を超えており、今後も一層の普及を図っていく。また、特定健診の実施についても、個別健診の受託先の拡大、受診料の無料化を図り、受診率も増加する見込みとなっている。

★介護保険特別会計

○質疑 第1号・2号被保険者の中で介護サービスを受けている人は何人いるのか。また、特養施設の直近の待機者数は何人いるのか。

○答弁 居宅サービスの利用者は、65歳以上の第1号被保険者で2,136人、40歳から64歳までの第2号被保険者で60人の合計2,196人となっている。特養施設の直近の待機者は、平成26年2月現在で、要介護3以上の在宅の方が88名となっている。

鎌田 ちよ子 議員



●質問 「健康まちづくり元年」健康マイレージ事業について。
●答弁 チャレンジシートは4月下旬から市役所で配布。運動、食事など5項目の行動記録をチャレンジシートに4週間書き込みポイントを獲得。各種健診や健康イベント参加もポイントとなり、一定のポイントをためると共通商品券や協賛店での得点と健康マイレージカードがもらえる。チャレンジシート配布目標は6,000部。達成者増加で消費活動が活発化し、地域の活力を導く二重効果が期待される。
※上記のほか「市民の健康づくりについて」「市民生活の利便性について」「子育て支援について」の質問がありました。

浅利 竹二郎 議員



●質問 地方創生事業に対し、海上自衛隊で唯一艦船修理ドックを保有する大湊地方隊との連携による防衛造修ゾーン(仮称)を提案してはどうか。
●答弁 民間企業の特徴ある産業の創出について、協力できる方策を研究していきたい。
●質問 今後の小・中学校統廃合に関する方針を示せ。
●答弁 児童・生徒の教育状況改善の観点を第一義に捉える。
●質問 介護職員の賃金アップが、事業の経営状態に左右されることなく確実に実行される担保は何か。
●答弁 平成24年度から、一時的な交付金制度に替え、介護職員処遇改善加算を創設、現行加算の仕組みを維持しつつ上乗せを行う。

東 健而 議員



●質問 合併10年の節目が財政に与える影響について。
●答弁 普通交付税が3割減額になり大変厳しい財政運営を迫られる。
●質問 プライマリーバランス(基礎的財政収支)や4指標について。
●答弁 実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字、実質公債費比率は17.8%で、財政再生基準と早期健全化基準を下回っている。将来負担比率は204.3%で基準値以下、財政力指数は1に対し0.37で非常に悪い。
●質問 合併特例債の使用について。
●答弁 134億7,400万円の残で、5年間延長可能。歳入については、今後未収金対策など、資金企画室を創設し、より効果的な財源確保に努めたい。
※上記のほか「地方創生2法案の成立に伴う本市の戦略について」の質問がありました。

横垣 成年 議員



●質問 原子力新規制基準について田中委員長が「私は安全だとは言っていない」と言っていることについて。
●答弁 「安全性については不断に向上を目指すべき」が田中委員長の思い。政府は「新規制基準に適合した場合は安全性が確保された」とし、私も政府の見解を支持する。
●質問 安全という点で原子力行政は無責任だ。安倍首相は「規制基準イコール安全」、田中委員長は「安全とは言わない」と言う。安全という点でどちらも責任をとろうとしない。「国は安全という点で責任をとれ」と抗議する考えはあるか。
●答弁 政府を支持する立場だ。
※上記のほか「むつ市地球温暖化対策推進実行計画について」「むつ市の独自性などについて」の質問がありました。

斉藤 孝昭 議員



●質問 地方版総合戦略の早期策定に全力を尽くすべき。
●答弁 地方創生を好機と捉え、職員一丸でアイデアを出す。競争社会で求められるのはスピード感。できる限り新年度の早い時期に、他の自治体に先んじて策定する必要があると高い危機感を持っている。
●質問 ふるさと納税について、受け身から獲得へ、さらに関心を行動に移す施策を実施すべき。
●答弁 ふるさと納税をより明確にするための基金を新設する。寄附者に贈呈する特産品を9品目から20品目へ増やす。さらにクレジット決済の導入についても検討してるところである。
※上記のほか「教育行政について」の質問がありました。

大瀧 次男 議員



●質問 地方創生の地域づくりについて。
●答弁 市全域の中心部を1か所にするのではなく、旧4市町村それぞれの拠点を中心にしたまちづくりを進め、各拠点をつなぐ効率的なネットワークやインフラ整備等と一体的に進めるコンパクトシティ型の地域づくりが必要と考えている。
●質問 総合体育館の建設を予定する年度はいつか。
●答弁 中長期的な事業との折り合いや財源の調整は大前提だが、東京オリンピック・パラリンピックで日本中がスポーツに沸き立ち、併せて、青森県民体育大会がむつ市を含む下北地域を会場に開催される時期を目途に、建設に向けて検討していきたい。
※上記のほか「田名部まちなか再生事業について」の質問がありました。

目時 睦男 議員



●質問 介護保険制度改正による総合事業への移行時期と利用料やサービス内容等に変更はあるのか。
●答弁 移行は平成29年度で、現行のサービス内容のまま継続したいと考えているが、利用者や事業者が混乱しないよう進めていく。
●質問 メリットとデメリットは。
●答弁 事業者が増えればサービスの選択肢が増え、基準が緩和された場合は自己負担が少なくなるなどのメリットがあるが、利用単価を下げた場合、事業者が減収となる可能性がある。
●質問 認知症に対する取り組みは。
●答弁 介護予防講演会や認知症サポーター養成講座等の実施に加え、認知症の方やご家族を支援する相談業務を行う「認知症地域支援推進員」の配置を検討している。
※上記のほか「市政運営について」「避難対策について」「敬老会について」「民生委員について」の質問がありました。

中村 正志 議員



●質問 公共施設等総合管理計画策定の意義・目的・進捗状況は。
●答弁 厳しい財政状況が続く中での公共施設の老朽化問題への計画的アプローチであり、現在、ワーキンググループにおいて現状把握を第一義にデータの収集、分析を行い、特に公共建築物を対象に検討を進めている。
●質問 策定にあたり困難な点は、また、これまでの各施設管理はどうであったか。
●答弁 現状では各所管部署が管理しており、利用状況や老朽化の度合いを一元的に把握することが難しかった。来年度からは施設経営室を設置し、体制強化を図り、道路や橋梁なども含め平成28年度を目途に計画を策定する。
※上記のほか「むつ市総合戦略(成長戦略)の策定について」の質問がありました。

佐賀 英生 議員



●質問 現在、中国食材の問題が起こっている。子ども達の安全・安心が危惧されていることから、市内小・中学校の給食で使用されている食材の、国産品、輸入品、地元食材の割合はどうなっているのか。また、給食1食あたりの単価はいくらか。
●答弁 市内小・中学校の食材は、国産品83%、輸入品17%で、そのうち青森県産品が、使用量ベースで59%、415.8トンである。給食メニューの多様化などで、材料の一部は輸入品に頼らざるを得ないが、検疫所や保健所で審査や検査を行っており、一定の安全性が担保されている。また、給食の単価は1食あたり300円前後となっている。
※上記のほか「保健・福祉行政について」の質問がありました。

菊池 光弘 議員



●質問 当市の人口減少対策と数値目標はあるのか。
●答弁 人口減少問題克服が地方創生の重要課題である。地方版総合戦略策定の重要な基礎資料となるむつ市版人口ビジョン策定に向け、これから本格的な分析作業を行っていく。
●質問 当市の経済効果が期待されるプレミアム商品券の発行はいつ頃を予定しているか。
●答弁 現在商工会議所、商工会と調整中であるが7月を目途に発行する予定としている。
●質問 投票率最低返上に対する取り組みは。
●答弁 初の試みとして本年1月の成人式において成人式模擬選挙を実施したほか、小学生を対象とした選挙出前講座を大平小学校6学年3クラスで実施するなど啓発活動に取り組んでいる。

佐々木 隆徳 議員



●質問 市道細間沢線の進捗状況と今後の見通しは。
●答弁 これまでに測量調査、実施設計、民有地の買収等を終了しており、今後は財政状況を見極めながら整備していきたい。
●質問 市内の自主防災組織の設立状況と課題は。
●答弁 現在むつ地区が7、脇野沢地区で1の計8町内会と極めて少なく、今後未設立の各町内会長に自主防災組織の必要性等を説明し、設立を積極的に働きかけていきたい。
●質問 水産加工センター移譲の見通しは。
●答弁 漁港用地の売却について国と県である程度の協議が整い、今後順次手続が進められるものと思っている。建物の譲渡については、用地売却の目途がつき次第進めていきたい。
※上記のほか「観光振興について」の質問がありました。

濱田 栄子 議員



●質問 ワシントン州ポートエンジェルス市と姉妹都市を結び今年で20周年を迎えるが、今後の交流のあり方について問う。
●答弁 今年はダン市長とタッド会長一行が当市を訪問する予定であり、20周年の記念式典を計画している。今後の交流についてはダン市長や国際交流協会の方々話し合いを進めていく。
●質問 太平洋東部海区における沿岸漁業と沖合漁業の操業ラインは、安全かつ平等であると思われるか。産業や雇用との関係をどう考えるのか。
●答弁 操業ラインの見直しは地元産業に密接に関わる重要な案件である。近隣町村と関係を密にし関係機関に要望する。

第2回 むつ市議会議会報告会 および 市民との意見交換会を開催します!

～5月28日(木)・6月1日(月)市内8会場で開催予定～

昨年7月の開催以来、2度目の開催となります。

今回は第223回定例会での審議内容のほか、平成27年度の予算審議内容を中心に、市民のみなさまとの意見交換を行います。

詳細はむつ市議会ホームページをご覧ください。5月25日発行の「広報むつ」でお知らせする予定です。

白井 二郎 議員



●質問 市税の納付にクレジット収納を導入すべき。
●答弁 クレジット収納に係る手数料は、市で負担している口座振替やコンビニエンスストアでの収納に係る手数料より高いものの、その重要性は認識しており、今後検討していきたい。
●質問 税の平等性・公平性からも都市計画税の課税を見直すべき。
●答弁 当市はインフラ整備が遅れており、今後も都市計画事業を進めていかなければならない現状にある。受益と負担の整合性、財源対策等を総合的に勘案し慎重に進めていきたい。
●質問 商業施設などへの期日前投票所の設置について。
●答弁 場所の選定や2重投票の防止などの課題も多いが1つ1つ整理し実現に向け研究していく。
※上記のほか「人口減少と将来のまちづくりについて」の質問がありました。

工藤 孝夫 議員



●質問 地方創生総合戦略構想は広く市民や地域住民の声をどのように反映させていくのか。
●答弁 パブリックコメントを通じて、広く市民の皆さまの意見を反映させる手法を検討していきたい。
●質問 1次産業の活性化と仕事、所得の向上をどう図るのか。旧町村部における医療福祉の確保、および向上、再生について問う。
●答弁 戦略に盛り込む具体的な施策はこれから本格的に協議していくことになるが、当市の最大の課題は雇用の創出にある。このことは若者の定住と結婚や子育て環境を整えていくことの課題でもある。医療、福祉についてもしっかり分析を行い、総合戦略の中に組み入れていきたい。
※上記のほか「新教育委員会制度について」の質問がありました。

石田 勝弘 議員



●質問 下北半島5市町村での定住自立圏形成について。
●答弁 2月に周辺4町村長と会談し、形成に向けて連携していく意向を確認した。今後、連携する市町村間で協議を重ね、9月までに中心市宣言を行う予定だ。国からの財政支援は中心市には最大で8,500万円程度、ビジョンの期間中5年程度を想定する。
●質問 街路灯の灯具の寿命延長や電気料金の削減のためにも、早期に市内全ての街路灯のLED化を図るべき。
●答弁 平成27年度から民間資金を活用したESCO事業による街路灯の原則全面LED化の導入について取り組む。明るく、安全で、エコな街を目指していきたい。

## 【総務教育常任委員会】 ○3月12日付託議案審査

総務教育常任委員会に付託された13議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、議案第9号むつ市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例、議案第10号むつ市職員の給与の特例に関する条例の2議案については、反対討論があったが、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定し、ほか11議案については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

### （委員会審査における主なる質疑）

・議案第2号むつ市ふるさと納税寄附金基金条例

Q 寄附者へのお礼として贈る地元特産品の数と金額について、また、寄附をされた方に特産品を贈ることについてどのように考えているのか。

A 現在、陸奥湾産活ホタテなど9品目、金額は送料込みで約5000円としている。また、寄附をされる方も特産品を重視しながら自治体を選ぶ方も多く、今後地元特産品の充実に努めていきたい。  
・議案第10号むつ市職員の給与の特例に関する条例

Q 3パーセント減額する以前にやるべきこととはあると思うが、部署の人員の見直し等の議論はあったのか。

A 現在、市で策定している定員適正化計画からしても計画を上回る職員数の削減などを行っており、人件費の抑制、行財政改革に努めている。また、平成27年度においても組織等の見直しを行うこととしており、これ以上の職員数の削減は市民サービスへ影響を及ぼすものと考えている。

## 【産業建設常任委員会】 ○3月12日付託議案審査

産業建設常任委員会に付託された6議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、6議案全てについて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。  
（委員会審査における主なる質疑）

### ・議案第6号むつ市大湊展望台条例

Q 観光施設として午前10時の開館は遅いのではないのか。

A 同時オープンを予定している「北の防人大湊安渡館」と一体で管理するため開館時間を合わせたものであり、今後の観光客等の動向を把握したうえで検討していきたい。

・議案第22号財産の取得について（都市計画道路横樋町中央2号線の道路用地を取得するためのもの）

Q 完成までのスケジュールおよび未取得部分の地権者数について。

A 平成29年度をめぐりに用地補償を進めていき、工事については、第1工区を平成28年度および平成29年度で、第2工区を平成30年度および平成31年度で施工する予定としている。また、未取得部分の地権者数については、現時点で用地が確定している部分が3名、用地が確定していない部分ではおよそ33名と見込んでいる。

### 【その他の活動】

#### ○所管事務調査

・むつ市観光交流センター「北の防人大湊安渡館」の開館に向けた準備状況について  
※現地調査  
・新規就農者の現状と今後の方向性について



## 【民生福祉常任委員会】 ○3月12日付託議案審査

民生福祉常任委員会に付託された9議案・1報告について関係部長等の出席を求め審査を行い、議案第12号むつ市介護保険条例の一部を改正する条例については異議があったが賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定し、ほか8議案・1報告については全会一致で原案のとおり可決・承認すべきものと決定した。  
（委員会審査における主なる質疑）

### ・議案第5号むつ市キッズパーク条例

Q 相当な混雑が予想される開所当初の対応と事故や苦情等に対応する窓口について。

A 開所から1か月程度の、特に土、日曜日には相当な混雑が予想されると考えているので、中心となる3名の職員以外にボランティアの配置や、応援職員の派遣も含めて対応していきたいと考えている。また、苦情等の窓口については、正保育士を館長的立場で配置することで、責任をもった対応ができる。

・議案第12号むつ市介護保険条例の一部を改正する条例

Q 低所得者層への軽減対策は。  
A 3月末に政令改正が予定されており、その政令の公布後に第1段階の保険料月額を3000円から2700円に引き下げる予定としている。

### 【その他の活動】

#### ○所管事務調査

健康マイレージ事業について

## 編集後記

昨年9月NHK「クローズアップ現代」で、地方議会不要論が6割にまで達したと触れられました。また、日本の首長制度は制限の強い制度であります。しかし、近年の地方分権改革の進展に伴い、住民自治によるガバナンス（統治）強化が求められており、そのためには首長とは別の選挙制度で選ばれる合議体である議会の機能強化が必要となります。

むつ市議会では、市民に信頼された活動力と創造力のある議会を築くため、平成25年6月に議会基本条例を制定し、積極的な情報発信と公開、市民参加の推進等に取り組んでまいりました。

その一環として、この度、議会だより「のりニューアル」を行いました。今後とも紙面の編集に改良を加えて、よりわかりやすい充実した議会だよりにしていきたいと思っております。

ご意見・ご感想はこちらまで

むつ市議会広報広聴委員会（議会事務局内）  
〒035-8686 青森県むつ市中央一丁目8番1号  
☎0175-22-1111

【広報広聴委員会 委員名簿】

◎委員長 中村 正志 ○副委員長 上路 徳昭  
目時 睦男、佐賀 英生、濱田 栄子  
富岡 修、菊池 光弘、岡崎 健吾

【むつ市議会ホームページ】

http://www.city.mutsu.lg.jp  
のバナーからアクセスしてください。